

学校支援を積極的に進める

積極的なボランティア活動で学校を支えるPTA活動

長久手市立南小学校PTA

1 はじめに

長久手市は名古屋市の東部に位置し、人口が年々増加するとともに、大型の商業施設が次々と開店し、2022年の11月にはジブリパークの開園で、多くの観光客が訪れる、魅力のある街であると言える。

本校は、東部丘陵線（リニモ）の主要駅が学区にあり、大型商業施設に加え、たくさんの商業施設が県道沿いに多くあり、人口の流入が多く見られる地域で、児童数も年々増えてきている。学級数も同じく増加し、現在は25学級（内 特別支援学級3）、児童数710名、職員数51名で、本年度で創立35周年を迎える、市内では比較的新しい学校である。



【児童の投票で外壁色を決めた校舎】

本校の教育目標である、「優しく、元気で、よく学ぶ 南っ子の育成」を目指し、職員・PTAが一丸となって教育活動を推進している。

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校PTAは、たくさんの保護者が、様々なボランティア活動に関わってくださっている。「できることを、できるときに、できる範囲で」を合言葉に、無理なく取り組んでいて、持続可能な取組となっている。これまでなかったボランティア活動でも、自分たちで作り出し、子どもたちのために活動の輪を広げている。

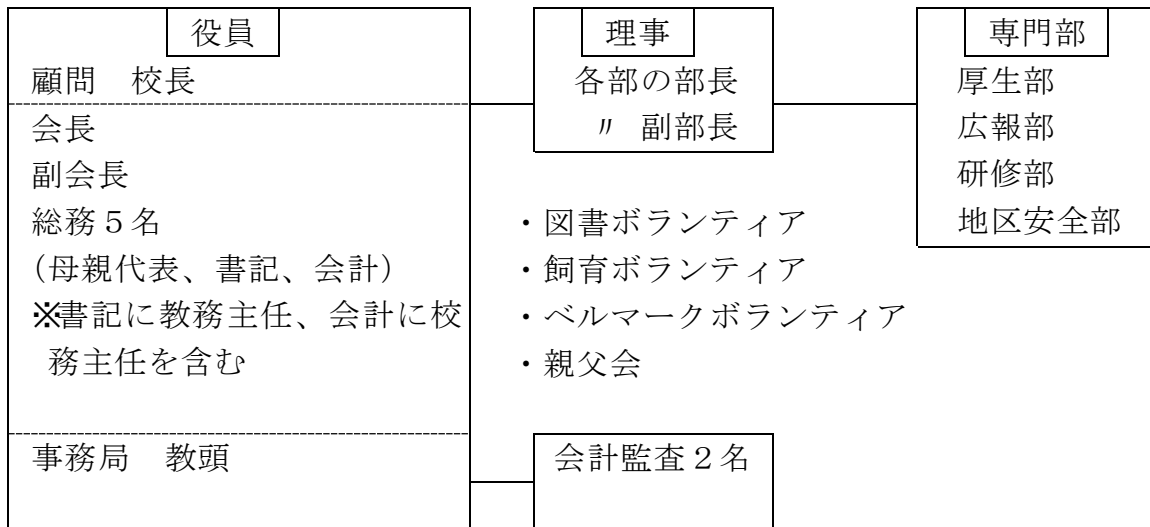
しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、長い期間学校生活に影響を受けることとなり、PTAの活動もボランティアの活動も、大いに影響を受けることになった。しかし、制限された活動においても、様々な工夫を凝らして子どもたちのために活動を続けていただいた。そこで、コロナ禍でも持続可能な取組を進めてきたPTAの活動やボランティア活動をまとめ、今後の学校支援につなげていく。

(2) PTAの組織

PTAの組織は、役員5名と地区安全部長と副部長3名、学年委員から選ばれた厚生部・広報部・研修部の部長と副部長の15名で理事を構成している。男女共同参画の理念に基づき、令和元年度に母親代表・書記・会計の名前を「総務」に変更し、役割が偏らないように工夫した。

以下に組織図を示す。

【PTA組織図】



3 実践活動の概要

(1) 役員・理事の活動

PTA行事の計画や学校行事のサポート計画のために、年間5回の理事会と年間3回の評議員会を行っている。しかし、コロナ禍の影響をうけて、令和2年度と3年度は評議員会を行うことができなかった。特に緊急事態宣言やまん延防止措置が出されている最中に理事会の日程が重なるときがあり、令和3年度からは、ZOOMを使ってのリモート参加も活用し、何とか理事会を全て開催することができ、やり方を工夫しながら継続できるようにしてきた。今後もオンラインを併用し、未就学児がいても参加しやすいPTA活動を目指していく。

(2) 各部・ボランティアの活動（学校支援活動を中心に）

① 研修部

平成29年度までは、研修部が中心になって「わくわくフェスティバル」というイベントを企画し、盛大に開催していた。しかし、運営側からは負担がとても大きいという反省が出ていた。そこで、平成30年度からは、地域の自治会連合会が主催する夏祭りのときにPTAがブースを出すことにして、そこを研修部の活動とすることになった。スライム作りを子どもたちと行い好評を得たので、継続して行くことになっていたが、



【令和元年度夏祭りの様子】

コロナ対策のため、夏祭りそのものが3年間中止となっており、今後は子どもたちが参加できる体育的なイベントも企画している。

② 広報部

校内にあるPTAの掲示板に、学校行事などで役員が撮影した子どもの写真などを学年ごとに掲示物を作成する班と、年3回広報紙を作成する班とに分かれ、児童の様子を情報発信する活動をしている。令和2年度には、本校PTA広報紙「そよ風」が、愛知県小中学校PTA連絡協議会長賞を受賞した。

③ 厚生部

給食試食班とリサイクル班とベルマーク班と運動会班に分かれ、活動をしている。ベルマーク班については、ボランティアと連携し、ボランティアが集計を担当、厚生部メンバーがベルマークを財団へ送る手続きをという役割分担をしている。また、運動会的时候には案内掲示貼りを手伝うなど、学校行事にも積極的に参画している。

④ 地区安全部

・毎月ゼロの日の付き添い登校

各通学分団ごとに、当番制で登校時に付き添い、分団登校の見守りを実施している。また、季節ごとの交通安全県民運動期間中は毎日当番を組んで見守りを実施している。授業参観が午後るときは、付き添い下校も実施している。

・あいさつ運動に協力

生活安全委員会の児童が中心になって活動しているあいさつ運動期間中は、積極的に参加するよう協力している。

・地区安全パトロール

1年に1回、学区を3つのエリアに分けて、該当する分団の地区委員を中心に、通学路の危険箇所の確認をしている。市の土木課と教育総務課にも参加してもらい、直接声を届けるようにしている。また、地区懇談会を開催して、危険箇所の確認等もおこなっている。

(3) 親父会の活動

本校には親父会があり、PTAの活動や学校行事に協力していただいている。また、親父会独自のイベントを企画し、親子での参加を楽しみ



【虫捕り体験】



【ラジオ体操の様子】

にしている家庭も多い。特に7月に行う夏の虫捕り体験は、毎回参加

希望が多数あり、抽選で決めているほどの人気企画となっている。今年
はさらに着衣水泳やラジオ体操を企画し好評だったので、次年度以降も
続けていこうと考えている。また、運動会では1日を通して校内巡回を
担当し、保護者同士のトラブル回避に貢献している。

(4) P T Aボランティアの活動

① 図書ボランティア

全てのボランティア活動に共通して、P T A総会要項に募集を呼び
かけるページを設定し、4月当初に募集をかけている。

コロナ禍前は、学期に1度は読み聞かせの
会を各学級で行っていた。さらに、お話し会
を定期的に行き、途中で劇を織り交ぜなが
ら、子どもたちが楽しく本の世界に触れられ
るよう、様々な工夫をしていたことから、



【お話し会の様子】

子どもたちがとても楽しみにしていた。しかし、コロナ禍での活動制
限により、お話し会や読み聞かせ会は動画を各学級で放映となった。
図書の修繕ボランティアはこれまで通り取り組み、動画は各学年にそ
れぞれ作成して渡し、手作りのしおりをプレゼントするなど、感染症
予防を徹底し、活動を続けている。

② 飼育ボランティア

本校では、飼育小屋でうさぎを数羽飼育している。平日は飼育委員
会の児童が主に世話をしているため、休日に飼育小屋のメンテナン
スを手伝っていただいている。代表を中心に当番を組み、土日祝日に
餌やりなどの活動を行っている。

③ ベルマークボランティア

本校では、ベルマークの収集・集計・発送をP T A厚生部が担当し
ていた。厚生部が担当する業務内容が多く、少しでも負担が軽くなる
ようと、令和元年度からベルマークの収集・集計作業については、
ボランティアメンバーが在宅で取り組むこととなった。ボランティア
の協力により、毎年多くの用品を交換し、学校へ寄付いただいている。

4 おわりに

本校のP T A活動は、役員や学年委員を中心に、学校支援活動を意欲的に
進めてきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校支
援に大きく関わってきたP T Aの活動も、様々な制限を受けることになった。
コロナ禍の中でできることはどのような活動か、それぞれの部が工夫を凝ら
して活動を再開し、子どもたちの学校生活がよりよくなるように考えを巡ら
せてきた。今後は、持続可能な活動になっていくよう、I C Tを活用しながら、
学校支援活動の見直しや充実・発展を図っていきたい。